

令和2年度 10月 プロジェクトマネージャ試験 解答例

午後Ⅰ試験

問1

出題趣旨	
<p>プロジェクトマネージャ（PM）は、プロジェクト全体計画の作成に先立って、システム開発プロジェクトの責任者として、確実に便益を現実化するために、プロジェクト憲章の作成に積極的に取り組むことを求められる場合がある。</p> <p>本問では、化学製品製造業の企業における DX 推進を題材として、プロジェクト憲章を理解しているかどうか、具体的にプロジェクト憲章を作成し、プロジェクトチームを編成し、プロジェクトを立ち上げる実務能力を習得しているかどうかを問う。</p>	

設問	解答例・解答の要点	備考
設問1	(1) プロジェクトの承認を全社に伝え協力体制を確立するため	
	(2) 役員会で工場の生産プロセス DX を今期の最優先案件としたこと	
設問2	(1) 全社からプロジェクトへ参加できる体制とするため	
	(2) メンバが最適化の案を検討する時間を確保できるようにするため	
	(3) 来期からの横展開に必要な手順を習得してもらうため	
設問3	(1) IT とプロセス分析の専門家の支援で進捗の遅れを回復するため	
	(2) システムが異常の際は自分たちで迅速に対応できるようにするため	

問2

出題趣旨	
<p>プロジェクトマネージャ（PM）は、プロジェクトを円滑に運営するために、プロジェクトチームの状況についての確に掌握し、プロジェクトチームの構成員に、必要な能力の獲得や自らの成長を促すための活動を計画する必要がある。</p> <p>本問では、顧客のサービスの提供価値を継続的かつ迅速に高めるために、システムのリリース間隔の短縮と持続的な成長を期待されるプロジェクトチームを題材として、プロジェクトチームの開発に関する実践的な能力を問う。</p>	

設問	解答例・解答の要点	備考
設問1	(1) ア 時間を含めた投下資源	
	イ サービスの提供価値	
	(2) PM の考えに引きずられないメンバの真の考え	
設問2	(1) 提供価値を継続的に高めるという期待	
	(2) 合意することにした意図	メンバ全員が納得した上で行動に移れるようにするため
	明文化して共有することにした意図	メンバ全員が自律的に行動するための基準とするため
設問3	(1) 消費者	
	(2) ST 間の稼働の不均衡	
	(3) a メンバのローテーション	
	(4) 自律的な判断と行動を尊重して、学びの機会を与える	

### 問3

出題趣旨	
<p>プロジェクトマネージャ（PM）は、プロジェクト計画の作成に当たり、プロジェクトの要求事項を収集し、将来のリスクがプロジェクトに与える影響を考慮し、全体調整を図った上で、一貫性のある実行可能な計画とする必要がある。</p> <p>本問では、SaaS を利用した人材管理システムを導入するプロジェクトを題材として、SaaS の特徴を踏まえて拡張性を生かした導入方法、データ整備方法、デモンストレーションやプロトタイプを有効活用した要件定義の方法、プロジェクトのメンバが正確にコミュニケーションする手段について、PM としてのプロジェクト計画作成の実践的な能力を問う。</p>	

設問	解答例・解答の要点	備考
設問1	(1) 人材管理システムの稼働が来年4月から遅延するリスク	
	(2) 拡張、改善される標準機能を利用し続けるため	
	(3) 第2段階で経年情報を使ってキャリア形成の可視化を行うため	
設問2	(1) ・ 人事評価業務の運用ができるかどうかを確認する役割 ・ 人材管理システムに対する利用者要求事項を提示する役割	
	(2) 利用者要求事項の大部分を標準機能で実現できる範囲に収める効果	
設問3	(1) 認識齟齬のまま進み手戻りが生じるリスク	
	(2) 討議結果の根拠となる意見の記載があるから	